

市民アンケート調査報告書（概要版）

（１）調査の実施方法・期間

①調査の対象者

本市に住民登録している満 18 歳以上の市民の中から、無作為抽出した男女 5,000 人

②調査の実施方法

郵送による調査票の配布、郵送及び WEB（インターネット）による回収

③調査の実施期間

令和 5（2023）年 11 月 15 日～12 月 10 日まで

④回収状況

配布数 5,000 票、有効回収数 1,814 件（郵送分 1,381 件、WEB 分 433 件）、回収率 36.3%

（２）設問の構成

【問 1～8】回答者の属性等

【問 9】まちの印象・暮らしやすさ（住み続けたいか、住み続けたい・住み続けたくない理由）

【問 10】日常生活における意識

【問 11・12】まちの人口減少について（人口減少を知っていたか、人口減少を抑えるために行政が力を入れるべき取組み（優先順位の高い順に 1 位から 3 位まで））

【問 13】現在の市民生活やまちづくりに対する評価と今後、行政が特に力を入れるべき取組み

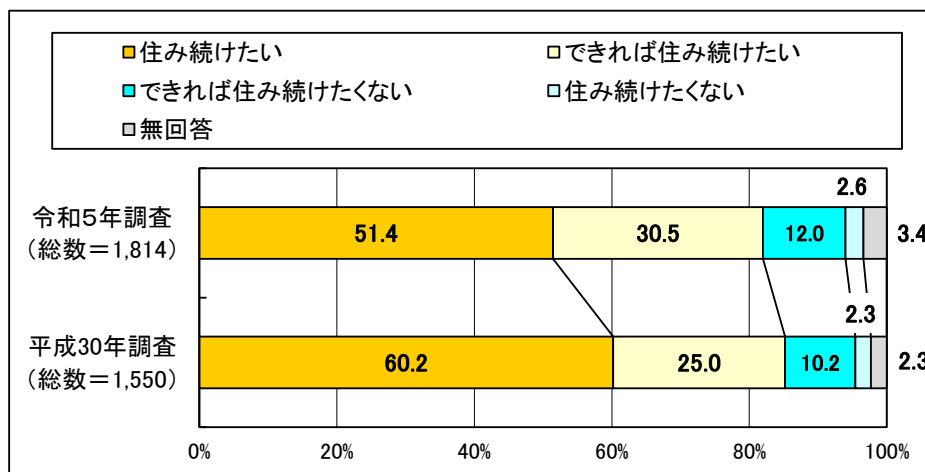
【問 14】市民参加のまちづくり（まちづくりの主体）

1 北茨城市への定住意識

－住み続けたいが 81.9%で住み続けたくないの 14.6%を大きく上回っています－

「住み続けたい（51.4%）」と「できれば住み続けたい（30.5%）」を合わせた「住み続けたい」が 81.9%で、「できれば住み続けたくない（12.0%）」と「住み続けたくない（2.6%）」を合わせた「住み続けたくない」の 14.6%を大きく上回っています。

図表 北茨城市への定住意識



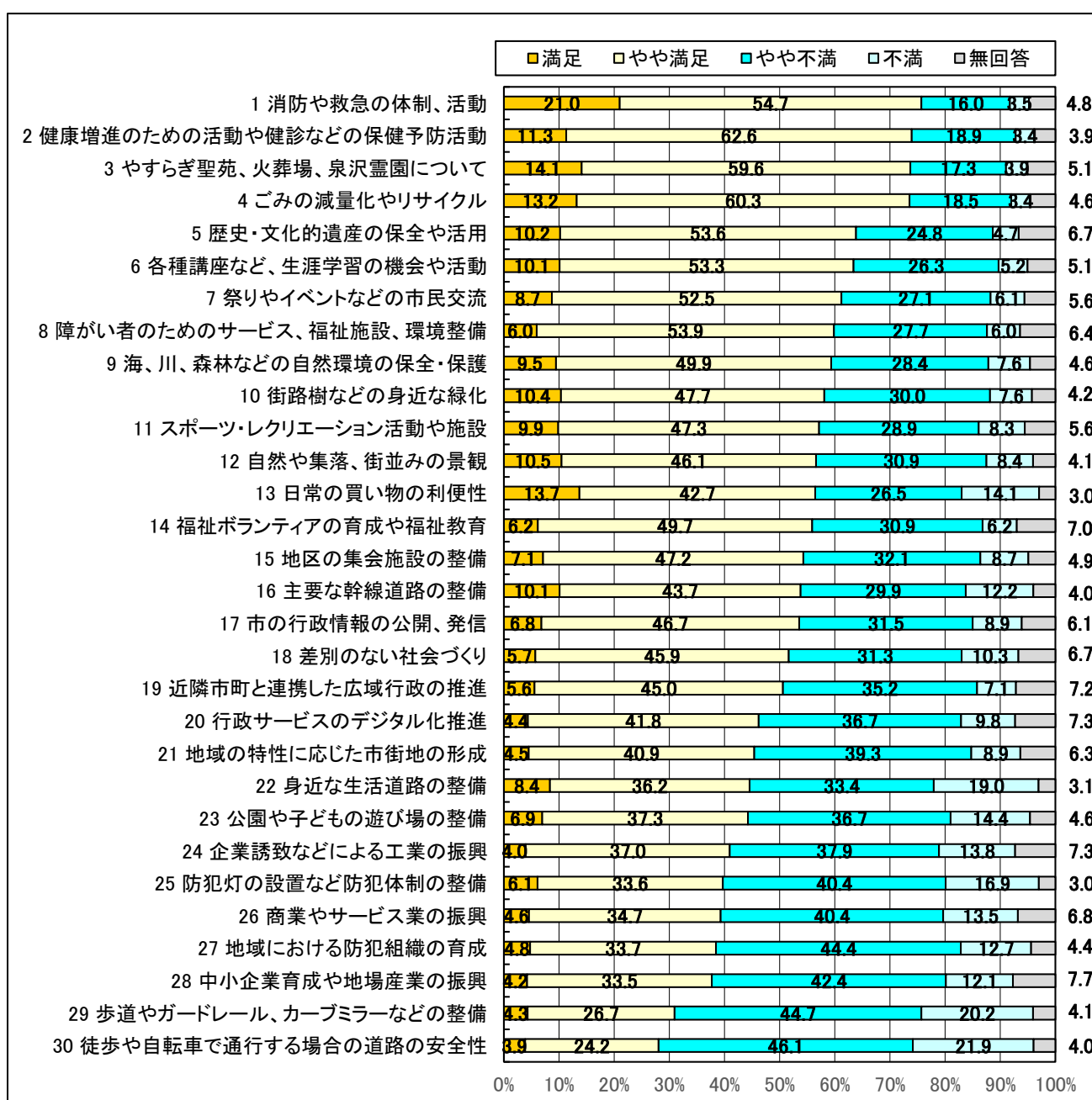
2 現在の市民生活やまちづくりに対する評価（満足度）

－市民生活に身近な道路交通の安全性に対する不満度が高くなっています－

「満足」と「やや満足」を合わせた「満足」の回答率が最も高かったのは、「1 消防や救急の体制、活動」の75.7%であり、以下、「2 健康増進のための活動や健診などの保健予防活動」の73.9%、「3 やすらぎ聖苑、火葬場、泉澤霊園について」の73.7%、「4 ごみの減量やリサイクル」の73.5%、「5 歴史・文化的遺産の保全や活用」の63.8%の順となっています。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた「不満」の回答率が最も高かったのは、「30 徒歩や自転車で通行する場合の道路の安全性」の68.0%であり、「29 歩道やガードレール、カーブミラーなどの整備」が64.9%でこれに次いでおり、市民生活に身近な道路交通の安全性に対する不満度が高い結果となっています。

図表 現在の市民生活やまちづくりに対する評価（「満足」＋「やや満足」の合計の高位順）



3 今後の人口減少を抑えるために、行政が力を入れるべき取組み

— 第1位の回答率は、「市外からの企業誘致の促進」と「若い世代が求める職場づくり」が最も高くなっています —

第1位に挙げられた回答率が最も高かったのは、「市外からの企業誘致の促進」及び「若い世代が求める働く場づくり」の17.9%であり、以下、「地域医療体制の充実」の10.2%、「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」が10.1%の順となっています。

図表 今後の人口減少を抑えるために、行政が力を入れるべき取組み
(優先順位の高い順に1位から3位まで)

